

# ササハタハツ エリアビジョン（案）



2022年1月31日時点

注：本資料はその後レイアウト、デザインを  
施しなおし冊子としてまとめられます。

2022年3月策定  
ササハタハツまちラボ

# 目次

<b>1章. はじめに</b>	<b>02</b>
1-1. 「ササハタハツエリアビジョン」策定の経緯と目的	03
1-2. ササハタハツエリアビジョン	04
1-3. ササハタハツエリアビジョンの位置づけ	05
<b>2章. ササハタハツエリアの特徴（現状分析）</b>	<b>06</b>
2-1. 【特徴1】コミュニティ・暮らし	08
2-2. 【特徴2】自然・環境	12
2-3. 【特徴3】商業・賑わい	16
2-4. 【特徴4】歴史・文化・創造	19
2-5. エリアの特徴（まとめ）	22
<b>3章. ササハタハツエリアの目指すまち</b>	<b>23</b>
<b>4章. 共通原則、テーマと取り組み</b>	<b>26</b>
4-1. 基本的な考え方（共通原則）	27
4-2. まちづくりのテーマと取り組み	28
<b>5章. ササハタハツエリアビジョンの実現に向けて</b>	<b>38</b>
5-1. ビジョンの実現に向けた3つの柱	39
5-2. ビジョンを実施する推進体制	40
5-3. ビジョン実現までのロードマップ（行程表）	42
<b>巻末資料</b>	<b>43</b>

## 1章. はじめに



# 1章 はじめに

## 1-1. 「ササハタハツ エリアビジョン」策定の経緯と目的

### ササハタハツエリアの暮らしの質・まちの魅力の更なる向上が目的

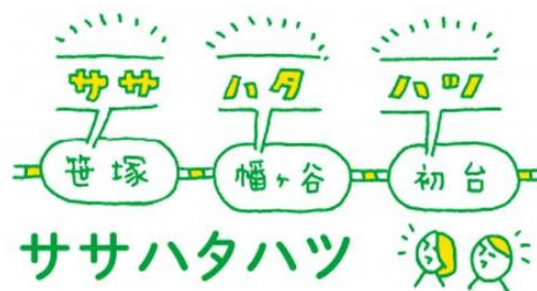
京王線笹塚駅・幡ヶ谷駅・初台駅のそれぞれ頭文字を採り、「ササハタハツ」と称している本エリアでは、地域住民をはじめ地域に関わるあらゆる人々にとって魅力的なまちにしていくために、平成29年度からササハタハツまちづくりとしてワークショップが開催されており、参加者の良好な関係がつけられ、自発的なプロジェクトが実施されています。また、ササハタハツまちづくり3年目となった令和元年度は、「（仮称）ササハタハツまちラボフューチャーセッション」を開催し、多種多様なプロジェクト構想が新たに生まれました。同時に、市民共創プロジェクトを支援していく仕組みを模索してきました。

上記の背景を踏まえ、令和2年に官民連携により、「ササハタハツまちラボ」（以下、まちラボ）は設立しました。まちラボは、ササハタハツエリアのまちづくり共創プラットフォーム※として、ササハタハツエリアでのさらなる暮らしの質の向上を目的に、関わりたくなる「場所」と「仲間」があるまちを目指しています。

このササハタハツエリアビジョンは、ササハタハツエリアの暮らしの質やまちの魅力の更なる向上のため、ササハタハツエリアに関わる様々な方々の参画を促すとともに、ともに取り組む方向を示したものです。

#### ■ 「ササハタハツまちづくり」とは

ササハタハツまちづくりとは、これまで個々にまちがつけられてきた笹塚、幡ヶ谷、初台駅周辺の3つのエリアが、1つのエリアとしてチカラを合わせ、まちや暮らしの未来について考え、実践していこうという考え方です。



※まちづくりの共創プラットフォーム・・・

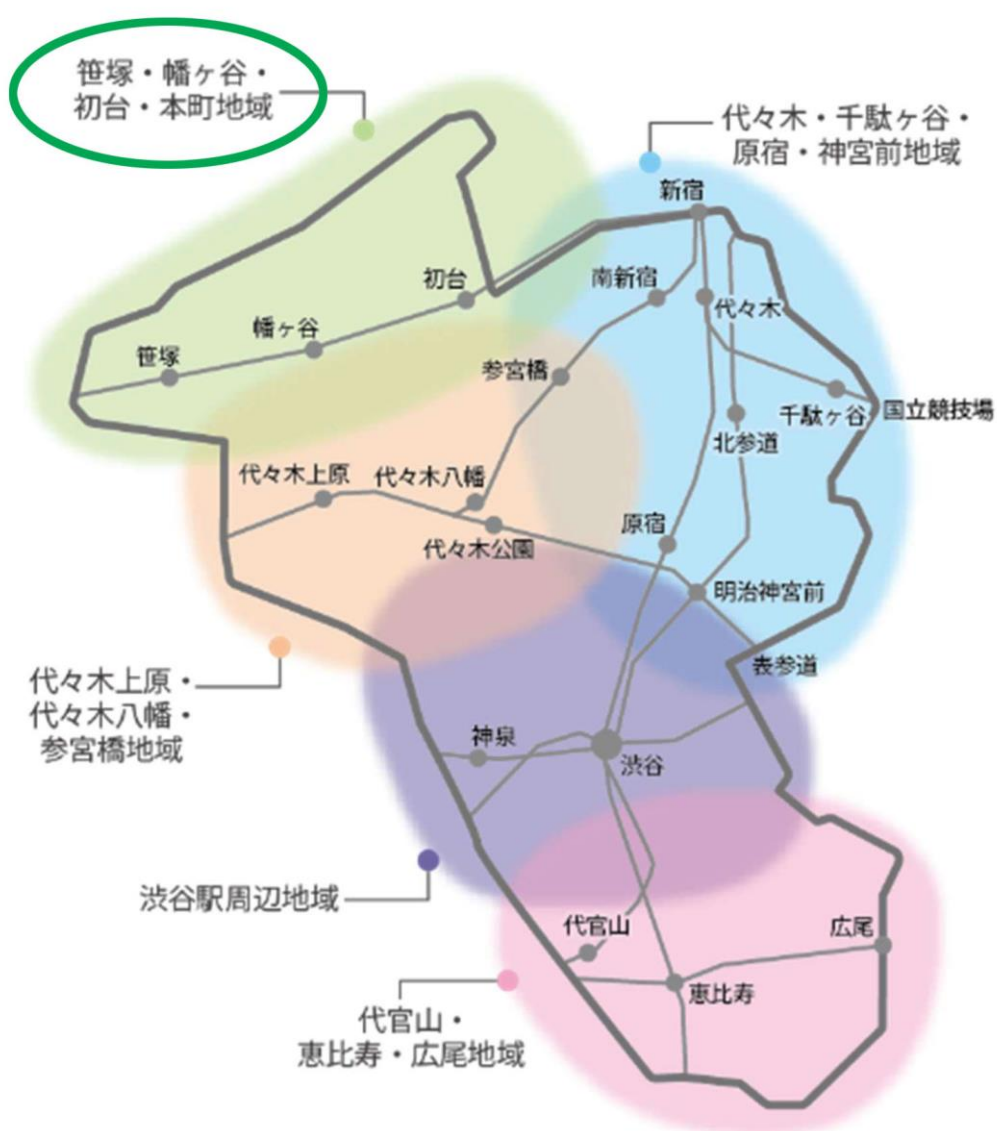
本ビジョンでのまちづくりの共創プラットフォームとは、官民の多様な人材が参画し、まちの将来像を共有し実現するための場

## 1-2. ササハタハツ エリアビジョン

## 渋谷区北部「笹塚・幡ヶ谷・初台・本町地域」が対象

本ビジョンに示すササハタハツエリアは、渋谷区まちづくりマスタープラン（令和元年12月・渋谷区）における地域区分「笹塚・幡ヶ谷・初台・本町地域」を対象とします。概ね笹塚駅・幡ヶ谷駅・初台駅を中心に徒歩圏内500m～1kmの範囲です。

## ■渋谷区の地域区分



出典：渋谷区まちづくりマスタープラン

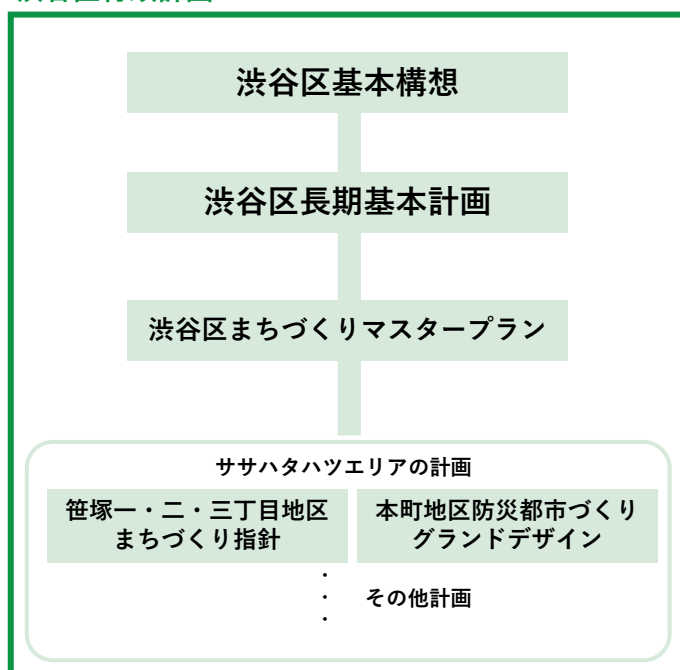
## 1-3. ササハタハツエリアビジョンの位置づけ

## 渋谷区の行政計画を尊重し、ビジョンを策定

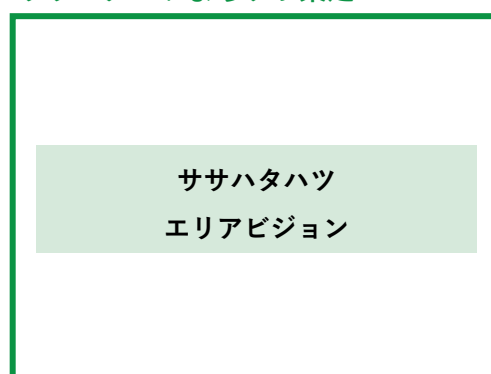
本ビジョンは渋谷区行政計画と、下図に示すような位置づけになります。

## ■行政計画との関係性

## 渋谷区行政計画



## ササハタハツまちラボ策定



※「連携」とは・・・

- ・行政計画を尊重したうえでビジョンを策定します。
- ・ビジョンの考えを尊重したうえで、今後のササハタハツエリアの行政計画を策定します。
- ・ササハタハツエリアビジョンは必ずしも行政計画との整合性を図るものではありません。

## 2章. ササハタハツエリアの特徴（現状分析）



## 2 章

## ササハタハツエリアの特徴（現状分析）

## 現状分析から見た4つの特徴

ササハタハツエリアビジョンの策定にあたり、各種統計資料やアンケート調査をもとに、エリアの現状を分析し、強み、弱みについて整理しました。その特徴として以下の1～4が挙げられます。

特徴

1

## コミュニティ・暮らし

多様な世代を受け入れる、暮らしが中心にあるまち

特徴

2

## 自然・環境

玉川上水旧水路緑道を中心に、身近に自然を感じることができるまち

特徴

3

## 商業・賑わい

商店街を中心に、様々な魅力ある個店が集積するまち

特徴

4

## 歴史・文化・創造

まちの歴史を土壌に、新たな文化や魅力が生まれるまち

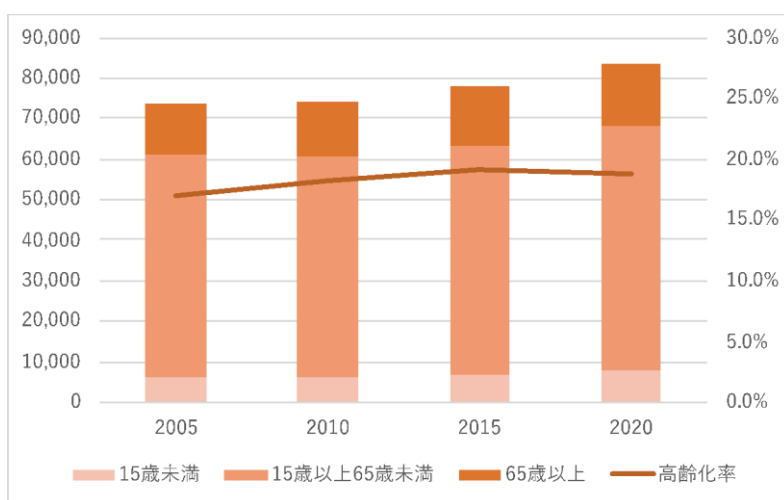


## 2-1. 【特徴1】コミュニティ・暮らし 多様な世代を受け入れる、暮らしが中心にあるまち

### 渋谷区内の大半の人口を占める

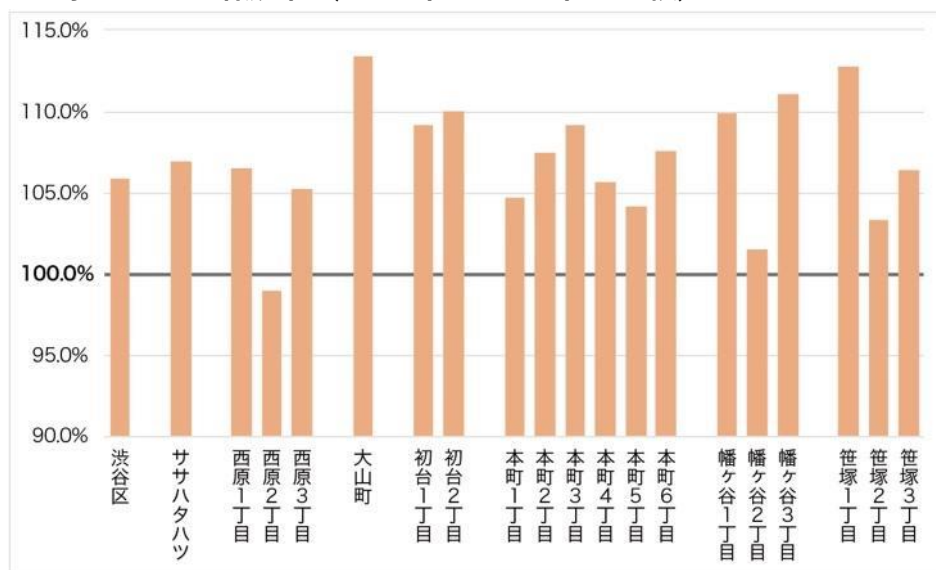
ササハタハツエリアは人口83,663人で、渋谷区全体（229,671人）の人口の36%(2020年1月時点)を占めています。また、2015年から2020年にかけて、エリアの人口は微増しています。地域別の大きな違いは見られませんが、大山町は最も人口が増加しています。

#### ■ササハタハツエリアの人口増減・高齢化率



出典：渋谷区住民基本台帳（2005～2020）  
※住基台帳法の一部改正により2005,2010は外国人を含まない。

#### ■町別の人口増減率（2015年：2020年の比較）



出典：渋谷区住民基本台帳（2015、2020）

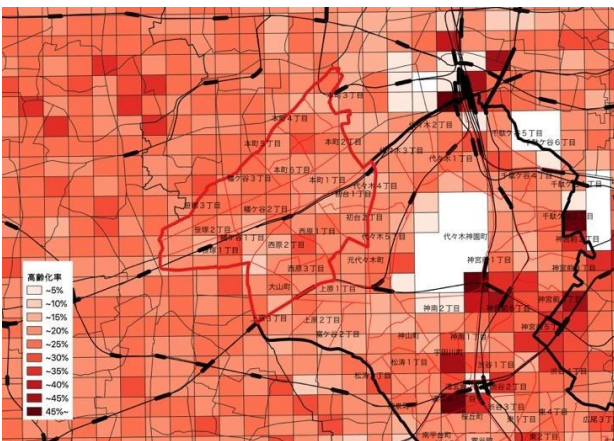
## 他地域に比べ高齢化率が低く、多様な世代が居住

渋谷区の他地域に比べ、高齢化率が低い状況であり、単身世帯から家族まで幅広い世代・世帯が暮らしていることがわかります。エリア別に見ると、甲州街道を境に南部の高齢化率や単身世帯率が低く、北部は若干高い状況が見られます。その一方で、このエリアは僅かずつではありますが、15歳未満の人口も増えています。残っていてほしいまちのイメージのアンケート（第1回アンケート：2021年1月～2月実施）結果では、「子どもにやさしい、子育てしやすい」という項目が、今のイメージに比べて10年後に実現してほしいと答えた割合が高く、子育て環境の向上が求められていることがわかります。

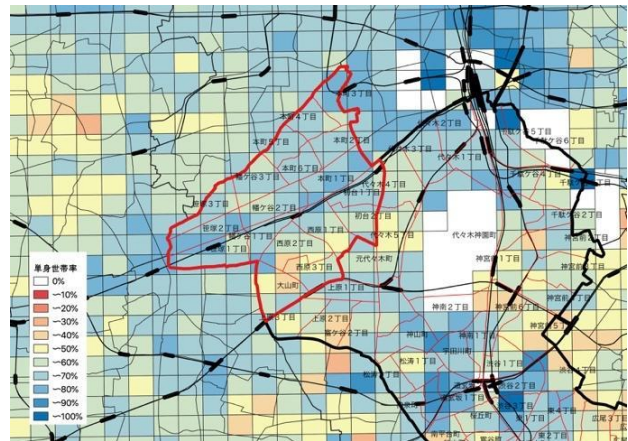
また、就労支援施設等も多い地域であり、その通所者も利用する地域です。

2017年度から2019年度に開催された「まちラボフューチャーセッション」の場において、「新住民と旧住民の接点がない」「つながりを求める人が多い」といった意見も出ています。2020年度のササハタハツまちラボ認定・登録プロジェクト※においても、コミュニティ不足の解決を目指したプロジェクトが実施されています。

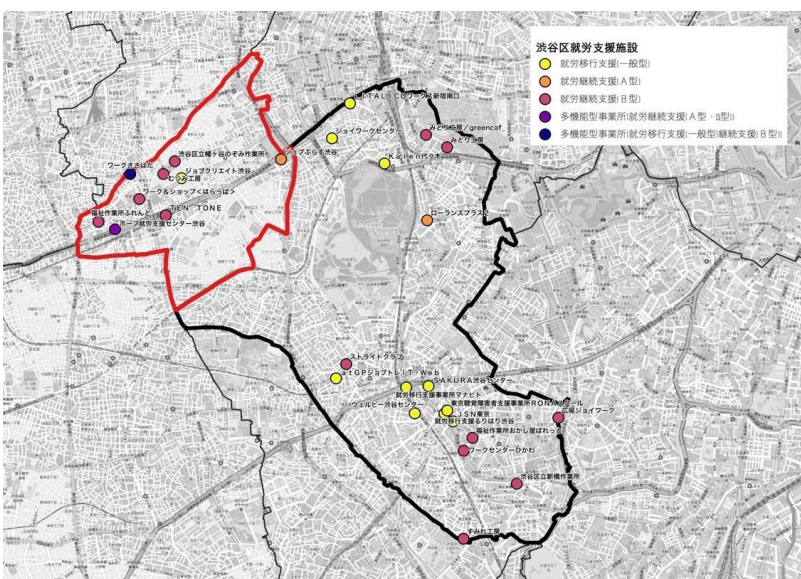
### ■ササハタハツエリアの高齢化率



### ■ササハタハツエリアの単身世帯率



出典：国勢調査（2015年）



### ■渋谷区内の就労支援施設

出典：とうきょう福祉ナビゲーション  
ホームページ記載の事業所情報をもとに作成

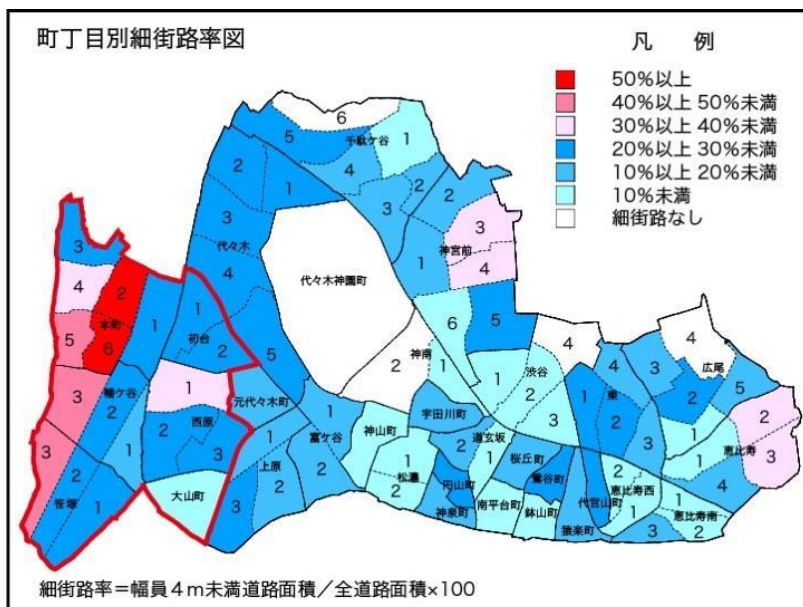
※ササハタハツまちラボ認定・登録プロジェクト・・・

ササハタハツまちラボが実施している、ササハタハツエリアで活動する方の主体的な取り組みを応援する事業「ササハタハツピープルまちづくりサポート（ササハピ）」で認定・登録されたプロジェクト。

## 狭い道路があり、防災上の課題がある

特に甲州街道の北部、本町エリアは幅4m未満の狭い道路の割合も高く、防災上課題があります。「本町地区防災都市づくりグランドデザイン検討会」においても、木造密集市街地の解消や避難場所、人とのつながりを強くするための取組について検討が行われています。

### ■ササハタハツエリアの細街路率図



出典：H28年度渋谷区土地利用現況調査

### ■ササハタハツエリアの現状



低層の住宅が多く建ち並ぶ本町地区



低層だけでなく、中高層の住宅も並ぶ西原地区



細い街路が多く、防災上課題のある本町地区

## 「コミュニティ・暮らし」の強みと弱み

### 特徴1 「コミュニティ・暮らし」の強み

- ・多くの居住者がいるエリアであり、多様なコミュニティ活動が行われています。
- ・現在も人口が増加傾向であり、賑わいの維持が期待されます。
- ・ササハタハツエリアに関係のある方々へのアンケートでは、「住みやすい」「便利である」といったイメージを持つ方が7割以上を占めました。

### 特徴1 「コミュニティ・暮らし」の弱み

- ・コミュニティを支える公共施設の中には築年数が経過し老朽化しているものがあり、その機能確保が必要です。
- ・狭い道路が多く、災害時の避難や延焼等の課題があります。安全・安心の確保のためには、ハード的な解決だけでなく、多様な世代のつながりをつくっておくことが重要ですが、不十分であるという声も挙がっています。
- ・高齢者人口が上昇している一方、医療福祉系産業の従業者数が少なく、エリア内での医療福祉サービスの充実を図る必要があります。
- ・各エリアに足りないまちの機能・施設を新設する余白がありません。

## 2-2. 【特徴2】自然・環境

玉川上水旧水路緑道を中心に、身近に自然を感じることができるまち

### 玉川上水旧水路緑道をはじめ、緑地が身近に存在

公園などのパブリックスペースは、自然に触れ合い憩える、日々の生活の中で重要な空間であり、また、様々な区民活動・コミュニティ醸成の場ともなる場所です。特に、ササハタハツエリアを横断する玉川上水旧水路緑道は緑が豊富であり、都市の中にある貴重な自然空間です。渋谷区の事業で玉川上水旧水路緑道再整備計画が進んでいます。（次ページ参考）

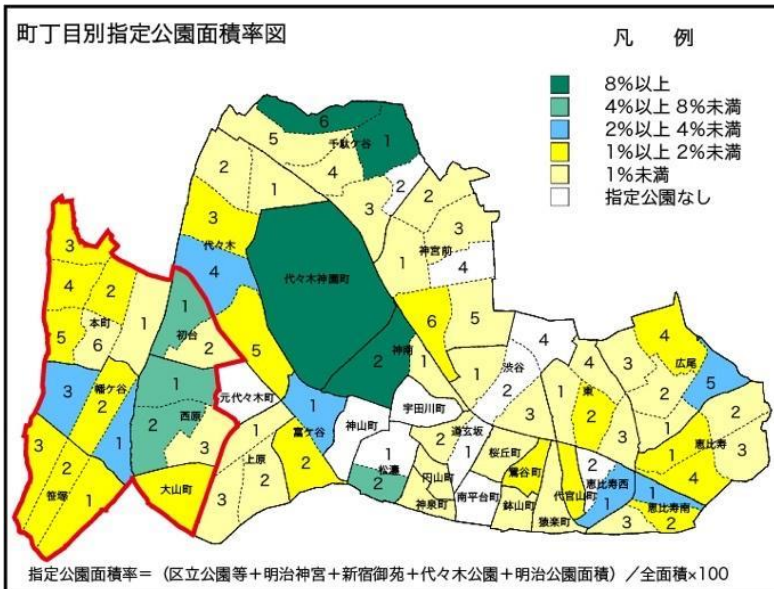


甲州街道南部には玉川上水旧水路緑道をはじめ、緑地が豊富。

甲州街道の南部は公園面積率が4%以上8%未満と比較的高い割合で分布していますが、北部は2%未満と低い数値となっています。

また、公園以外でも、再開発が行われたエリアには、公開空地が整備されている箇所もあります。緑地の創出と保全是、ヒートアイランド現象の緩和、都市型水害の抑制など、気候変動対策としても重要です。

### ■ササハタハツエリアの指定公園面積率図



出典：H28年度渋谷区土地利用現況調査

### ■渋谷区環境基本計画2018における施策の位置付け

#### 【計画が目指す渋谷区の姿】

わたしが動く。渋谷が変わる。

～行動が社会を変え、社会の変化が意識と行動のさらなる変革を生む持続可能な仕組みづくり～

#### 分野

1. 暮らし
2. みどり・生きもの
3. 資源・ごみ
4. エネルギー・温暖化対策
5. 意識

方針 4-3. 気候変動に影響に適応する



施策の方向 4-3-1. 適応策の推進

都市型水害への対策、暑熱対策・ヒートアイランド対策の推進等

■玉川上水旧水路緑道再整備イメージ コンセプト「FARM※」



出典：渋谷区ホームページ、第1回ササハタハツ会議LETTER第1号（PDF）、設計進捗報告資料（PDF）より抜粋  
 URL：https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kankyo/machi/sasahata/sasahatahatukaigi.html

※玉川上水旧水路緑道再整備コンセプト「FARM」・・・

「農」や「食」をテーマに地域の暮らしを豊かにするだけでなく、緑道から新たな「創造活動」を育てるという2つの意味を持つ。

## パブリックスペースの利用状況がまちまち

各エリアに公園はありますが、利用されている公園もあれば、十分に利用されていないものもあります。利用されている公園は、例えば保育園に近く、お迎え後に子供たちが遊んでいる姿が見られます。逆に保育園に近いものの、利用されていない公園もあります。

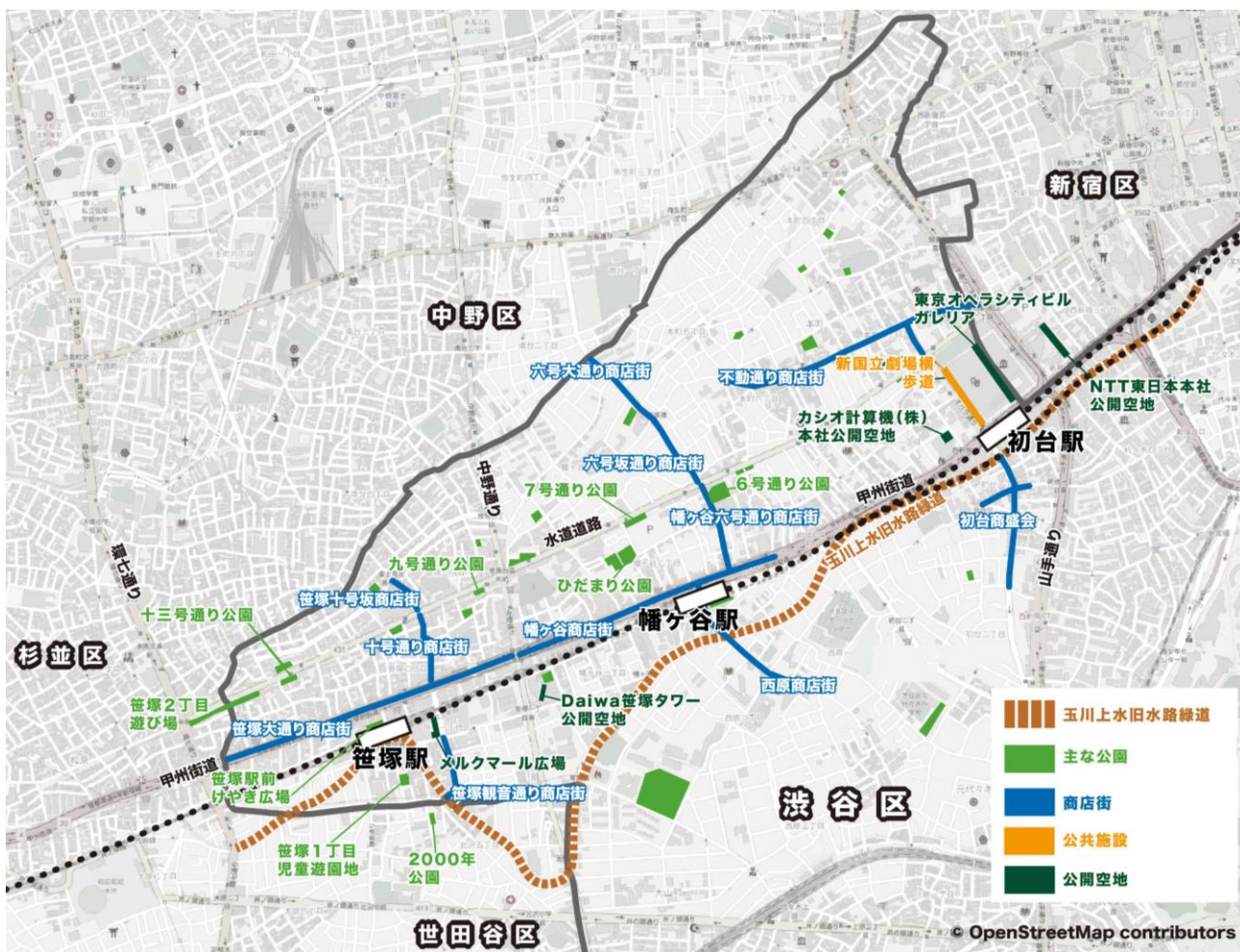


夕方、賑わう公園（区立幡ヶ谷ひだまり公園）



左の同時時間帯、活用されていない公園（水道道路沿線）

### ■パブリックスペースの分布



ササハタハツエリアビジョン検討委員会「パブリックスペース分科会」「文化・芸術・歴史分科会」における調査結果を元に作成

## 将来的な老朽化や維持管理不足は課題

公園の中には、老朽化した遊具や案内板、樹木の維持管理不足なども見られます。玉川上水旧水路緑道基本計画においても、既存公園施設の便所や遊具等の施設老朽化が指摘されています。



公園内には年数が経過した遊具や東屋なども。



十分に活用されていない公園も点在。

## 「コミュニティ・暮らし」の強みと弱み

### 特徴2 「自然・環境」の強み

- ・ササハタハツエリアは、都心部にありながら、玉川上水旧水路緑道を始め、身近に自然に触れられる機会の多いエリアです。
- ・玉川上水旧水路緑道は「FARM※」というコンセプトで再整備が検討されており、新たな機能向上や農・食を通じたコミュニティ形成も期待されます。
- ・各エリアに公園が存在し、コミュニティ活動の場としても活用が可能です。

### 特徴2 「自然・環境」の弱み

- ・老朽化や維持管理不足が課題であり、そのことにより利活用しにくい印象を受けることがあります。
- ・アンケートからは、「公園の不足」「質の改善」に関する意見が挙がっています。近隣の利用者のニーズを踏まえ、有効に利活用される仕組みが必要です。

※玉川上水旧水路緑道再整備コンセプト「FARM」（再掲）・・・

p.13 注釈参照



## 2-3. 【特徴3】商業・賑わい

### 商店街を中心に、様々な魅力ある個店が集積するまち

#### ササハタハツの各エリアには、古くから商店街が形成

ササハタハツエリアには、各駅を中心に商店街が形成されています。食料品店や日用品店、飲食店などが立地し、暮らしを支える店舗が充実しています。それぞれの商店街に歴史があり、都心でありながら「温かみのある」「古き良き」といった雰囲気を味わうことができます。地域密着型の店舗も多く、商店街を通じて地域の方々とのつながりが持てることも魅力です。

第1回アンケート（2021年1月～2月実施）で街のイメージとして「商店街」と答えた方が7割以上と多く、残ってほしい街のイメージでも6割以上の方が答えています。

土地の評価の一つである路線価は甲州街道沿線が最も高く、エリア北部に比べ、エリア南部が高い。駅周辺では、近年再開発が行われた笹塚駅周辺が高くなってきています。

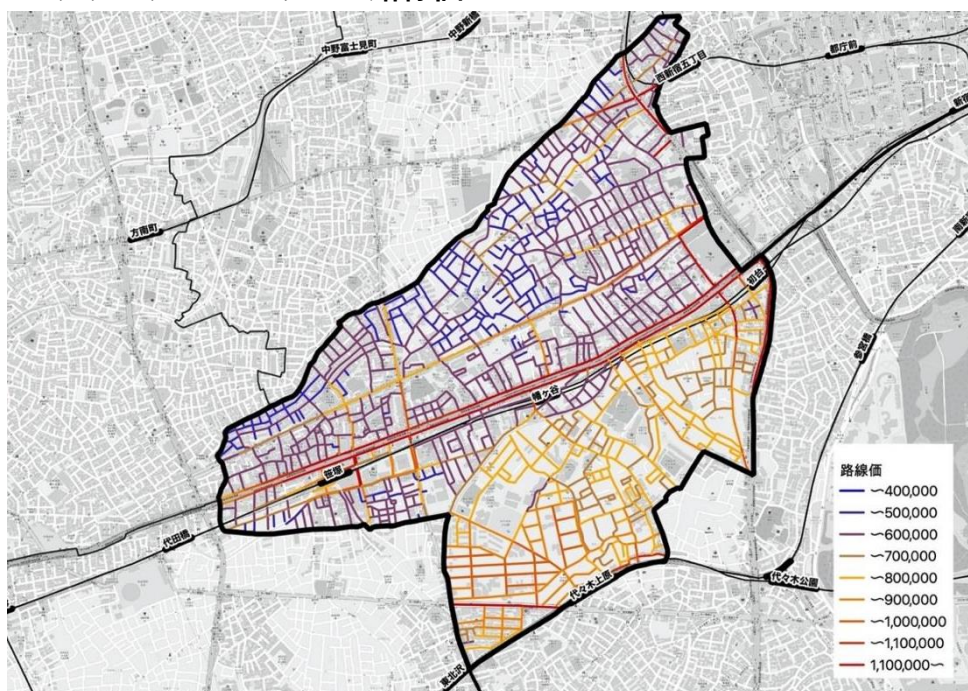


商店街には多くの方が来訪し、駅までの通行ルートとしても使われている。



地域密着型の店舗も多く立地。

#### ■ ササハタハツエリアの路線価



出典：令和2年度  
財産評価基準書

## 個性ある魅力的な個店が増えつつある

駅周辺や商店街沿い以外においても、路地沿いなどに雰囲気の良い魅力的な個店が増えつつあります。そのような個店の広がりや街の賑わいにつながるとともに、ササハタハツエリアを巡る楽しさの一つにもなります。



西原地区に増えつつある個性的な店舗。



新たな店舗の立地は、街の活性化に寄与。

## 今後さらなる活用の可能性がある空間も

ササハタハツエリアには各駅前に商店街がありますが、それぞれの場所で完結しているため、各駅を越えて回遊したり、つながり合う活動はまだ少ない状況です。

現在再整備が計画されている玉川上水旧水路緑道や、未利用空間がある水道道路沿いの都営住宅など、各駅を越えてつなげるルートとして活用が期待される空間もあります。



玉川上水旧水路緑道沿いの一部店舗は公園に面して展開。



水道道路沿線の都営住宅1階は未利用空間が存在。

## 「商業・賑わい」の強みと弱み

### 特徴3 「商業・賑わい」の強み

- ・各駅前に商店街を有し、日常の買い物などの利便性があるだけでなく、地域のコミュニティを支える場にもなっています。
- ・昔ながらの商店街からは風情も感じられ、都心にありながら温かみのある雰囲気を楽しむことができます。
- ・古い建築物は多いですが、丁寧にリノベーションされた個性的な店舗も増えつつあります。個店の中には、集客だけでなく文化発信の拠点にもなっており、地域のイメージ向上に寄与しています。

### 特徴3 「商業・賑わい」の弱み

- ・各駅個別で成り立っており、エリア全体で回遊・散策する動きはまだ少ない状況です。
- ・エリア内には古い建築物も多く、空き店舗・未利用地の利用促進、リノベーションの推進などが求められます。

## 2-4. 【特徴4】歴史・文化・創造

### まちの歴史を土壤に、新たな文化や魅力が生まれるまち

#### 地域固有の歴史・文化の重層性を感じることができる

江戸の台地に開かれた水脈・玉川上水を始め、水の記憶が残る道路やかつての橋の番号が付いた活気ある商店街など、地域固有の歴史・文化が様々な場所から感じることができます。単に歴史ある場所が残るだけでなく、玉川上水旧水路緑道のように、歴史の上に現在の街並みがある「重層性」を感じることができる点も特徴です。



玉川上水旧水路緑道に残る橋の高欄。



玉川上水にかけられた「六号橋」が由来の幡ヶ谷六号通り商店街。

#### ■玉川上水旧水路緑道の歴史

江戸時代、飲料水の確保のため、幕府は承応2(1653)年、多摩川の水を江戸に流し入れる玉川上水を開削。水の乏しい武蔵野台地に多く分水され、飲料水や農業用水に利用されました。明治時代に近代水道の建設が進められたものの、導水路として引き続き使用され、代田橋付近から淀橋上水場までを結ぶ「玉川上水新水路」が明治31(1898)年に完成しました。しかし、その後昭和40(1956)年に利根川から東京に導水する「武蔵水路」が建設されたため、小平監視所からの下流部は導水路としての使命を終えました。

渋谷区内を流れていた玉川上水は、昭和50年代以降、笹塚駅付近の一部を残し、暗渠化され、その上部が緑道として整備されました。往時の遺構を残す緑豊かな空間となり、区民から深く親しまれています。平成15(2003)年には、羽村取水口から四谷大木戸までのうち開渠区間が国の史跡に指定されました。

玉川上水旧水路緑道基本構想（H29）を一部再編

## ササハタハツに関わる人々によるチャレンジを支える環境を有する

このエリアには、就労支援の施設やシルバー人材センター等の、多様な働き方を支援する施設があり、もともと多様な人の働きたいという気持ちをサポートする施設がある地域です。

ササハタハツまちラボのフューチャーセッションやプロジェクトの支援をとおして、ササハタハツエリアをさらに魅力的な街にするために活動する方が増えてきました。また、セッションをきっかけに新たな関係性が生まれ、エリアを越えた連携につながった事例もあります。

また、渋谷区内には多くのコワーキングスペースがあるものの、ササハタハツエリアには1件しかなく、多様な方が働きやすい環境は整っているとは言い難い状況です。

今後も、住んでいる人・学んでいる人・働いている人・訪れる人など多様な主体が共創しながら、まち全体がチャレンジする人・活動を育み、コワーキングスペース等の応援する環境を作っていく必要があります。

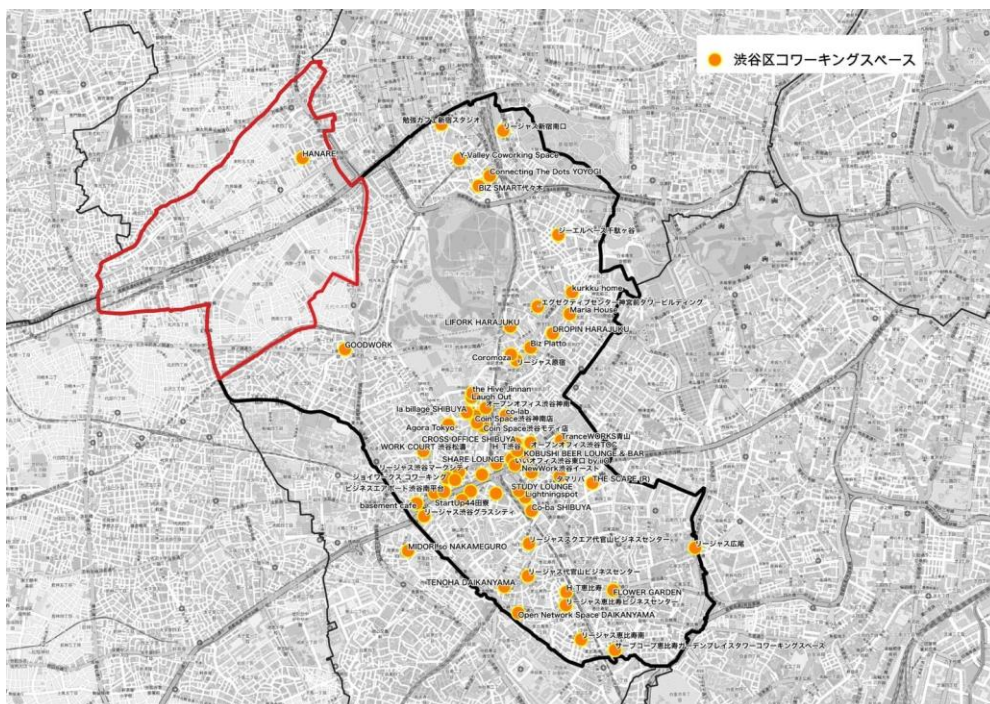


「ササハタハツまちづくりフューチャーセッション」には、様々な関わりのある人が参加。



「ササハタハツ新聞」など、地域の情報を発信するメディアも。

### ■渋谷区のコワーキングスペースの分布状況



出典：ジャパンホームページ及びナレッジソサエティホームページ記載情報をもとに作成

## 「歴史・文化・創造」の強みと弱み

### 特徴4 「歴史・文化・創造」の強み

- ・地域固有の歴史・文化があり、その重層性がエリアの個性として現れています。
- ・まちづくりに取り組む人が連携し合う環境があり、さらなる展開が期待されます。

### 特徴4 「歴史・文化・創造」の弱み

- ・地域固有の歴史・文化や新国立劇場などの文化施設があるにもかかわらず、アンケート調査では「歴史性がある」「文化・芸術・音楽に触れられる、行える」などに関する評価が低い状況であり、街の様々な歴史・文化が浸透していないと考えられます。
- ・新しいチャレンジやビジネスを受け入れる場は十分ではありません。
- ・ササハタハツのまちづくりの認知度は十分ではありません。エリアをさらに盛り上げていくため、地域のブランド化・発信などに取り組む必要があります。

## 2-5. エリアの特徴（まとめ）

## 特徴1 コミュニティ・暮らしの【強み】

- ・多くの居住者がいるエリアであり、多様なコミュニティ活動が行われています。
- ・現在も人口が増加傾向であり、賑わいの維持が期待されます。
- ・ササハタハツエリアに関係のある方々へのアンケートでは、「住みやすい」「便利である」といったイメージを持つ方が7割以上を占めました。

## 特徴1 コミュニティ・暮らしの【弱み】

- ・コミュニティを支える公共施設の中には築年数が経過し老朽化しているものがあり、その機能確保が必要です。
- ・狭い道路が多く、災害時の避難や延焼等の課題があります。安全・安心の確保のためには、ハード的な解決だけでなく、多様な世代のつながりをつくっておくことが重要ですが、不十分であるという声も挙がっています。
- ・高齢者人口が上昇している一方、医療福祉系産業の従業者数が少なく、エリア内での医療福祉サービスの充実を図る必要があります。
- ・各エリアに足りないまちの機能・施設を新設する余力がありません。

## 特徴2 自然・環境の【強み】

- ・ササハタハツエリアは、都心部にありながら、玉川上水旧水路緑道を始め、身近に自然に触れられる機会が多いエリアです。
- ・玉川上水旧水路緑道は「FARM」というコンセプトで再整備が検討されており、新たな機能向上や農・食を通じたコミュニティ形成も期待されます。
- ・各エリアに公園が存在し、コミュニティ活動の場としても活用が可能です。

## 特徴2 自然・環境の【弱み】

- ・老朽化や維持管理不足が課題であり、そのことにより利活用しにくい印象を受けることがあります。
- ・アンケートからは、「公園の不足」「質の改善」に関する意見が挙がっています。近隣の利用者のニーズを踏まえ、有効に利活用される仕組みが必要です。

## 特徴3 商業・賑わいの【強み】

- ・各駅前に商店街を有し、日常の買い物などの利便性があるだけでなく、地域のコミュニティを支える場にもなっています。
- ・昔ながらの商店街からは風情も感じられ、都心にありながら温かみのある雰囲気を味わうことができます。
- ・古い建築物は多いですが、丁寧にリノベーションされた個性的な店舗も増えつつあります。個店の中には、集客だけでなく文化発信の拠点にもなっており、地域のイメージ向上に寄与しています。

## 特徴3 商業・賑わいの【弱み】

- ・各駅個別で成り立っており、エリア全体で回遊・散策する動きはまだ少ない状況です。
- ・エリア内には古い建築物も多く、空き店舗・未利用地の利用促進、リノベーションの推進などが求められます。

## 特徴4 歴史・文化・創造の【強み】

- ・地域固有の歴史・文化があり、その重層性がエリアの個性として現れています。
- ・まちづくりに取り組む人が連携し合う環境があり、さらなる展開が期待されます。

## 特徴4 歴史・文化・創造の【弱み】

- ・地域固有の歴史・文化や新国立劇場などの文化施設があるにもかかわらず、アンケート調査では「歴史性がある」「文化・芸術・音楽に触れられる、行える」などに関する評価が低い状況であり、街の様々な歴史・文化が浸透していないと考えられます。
- ・新しいチャレンジやビジネスを受け入れる場は十分ではありません。
- ・ササハタハツのまちづくりの認知度は十分ではありません。エリアをさらに盛り上げていくため、地域のブランド化・発信などに取り組む必要があります。

### 3章. ササハタハツエリアの目指すまち





## 3章 ササハタハツエリアの目指すまち

### 特徴をふまえ、まちの姿を描き、共通原則、テーマ・取り組みを設定

2章のササハタハツエリアの特徴を踏まえ、ササハタハツエリアの目指すまちの姿を、「市民創発による持続可能で多様性を包摂した共に活躍・成長できるまち」と描きました。目指すまちの姿を踏まえ、実現に向けた共通原則、テーマ・取り組みを設定します。

#### 2章 ササハタハツエリアの特徴（現状分析）

- ・多様な居住者・活発なコミュニティ活動
- ・日常・非日常時のつながり
- ・都心にありながら豊かな自然環境・FARM
- ・賑わいのあるまち
- ・歴史・文化・創造
- ・暮らしの質の向上
- ・持続可能なまちづくりの必要性 など

ササハタハツエリアが目指すまち

市民創発による持続可能で多様性を包摂した  
共に活躍・成長できるまち

4章 3つの共通原則と8つのテーマ・取り組みへ

※ 目指すまちの姿を表すビジュアルが入ります

## 4 章. 共通原則、テーマと取り組み



## 4章 共通原則、テーマと取り組み

### 4-1. 基本的な考え方（共通原則）

目指すまちの姿を実現するための、3つの共通原則と8つのテーマを定め、ササハタハツエリアに関わる人々と共に取り組んでいきます。

#### 3つの共通原則を設定

共通原則は、8つの全てのテーマに対して横断的に関わり、テーマ下の取り組みのプロセスづくりやゴール設定にあたり、共通して考慮してもらう基本的な考え方（原則）です。

Citizen's Initiative <b>市民創発</b> シチズン・イニシアティブ <市民の自発的な参加や活動を推進し、まちをより良くする>	Sustainable <b>持続可能</b> サスティナブル <経済・社会・文化・環境を総合的に捉えて、エリアの持続性を生み出す>	Inclusive <b>包摂</b> インクルーシブ <多様性を包摂し、共に活躍・成長する>
---	---	--

#### Citizen's Initiative 市民創発 シチズン・イニシアティブ

<市民の自発的な参加や活動を推進し、まちをより良くする>

多様な人と人が集い、まちをより良くする新たな活動が自発的に創り出されているササハタハツエリア。先端的なデジタル技術やデータを積極的に活用して、市民の誰もが発案や参加ができ、市民の視点から発想された取り組みがエリアに実装され、改善が見えるまちをつくります。

#### Sustainable 持続可能 サスティナブル

<経済・社会・文化・環境を総合的に捉えて、エリアの持続性を生み出す>

都心部にありながら、玉川上水旧水路緑道をはじめ、身近に自然に触れられる機会が多いササハタハツエリア。環境との共生、災害や非日常時への対応を日常時から考慮し、様々な変化に強くしなやかに対応し、社会・文化・経済活動を続けられるまちをつくります。

#### Inclusive 包摂（ほうせつ） インクルーシブ

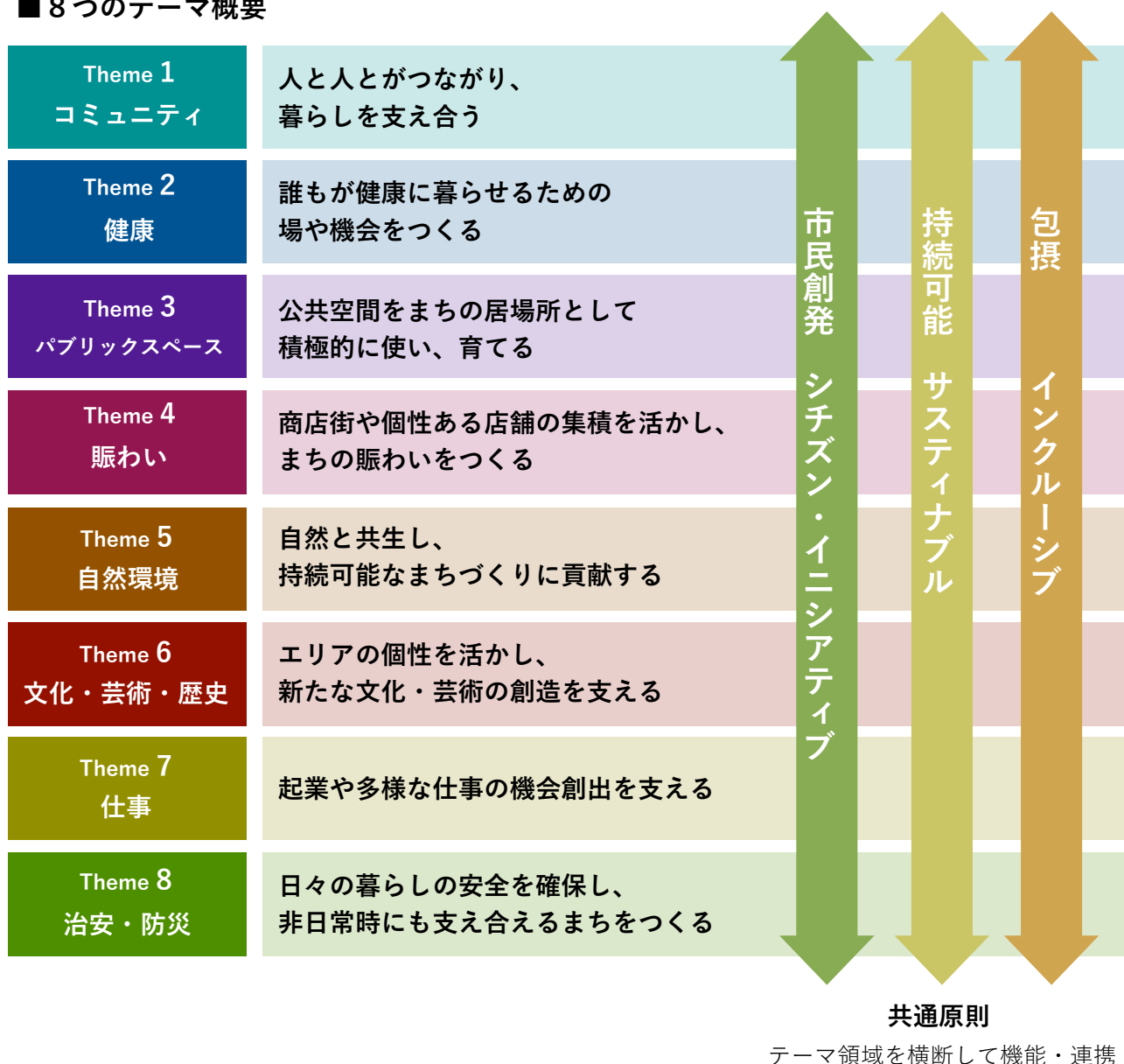
<多様性を包摂し、共に活躍・成長する>

渋谷区内において比較的多くの居住者が存在し、また居住者の世代やありようも様々なササハタハツエリア。誰もが自分の人生の主語は自分だと思えるように、思い遣り、助け合い、笑いあえる街をつくるため、誰もがアクセスできるいきいきと暮らしやすい環境や仕組み・個々の成長が交差し合いシナジーを生むコミュニティをつくります。

## まちづくりを進めるうえで、特に注力する8つのテーマ

8つのテーマは、ササハタハツエリアの特徴をふまえて、戦略的なまちづくりを進める上で特に注力していく領域として設定するものです。また、まちラボでは、これらのテーマにもとづいた取り組みを積極的に推進・支援していきます。ササハタハツエリアの暮らしの質やまちの魅力の更なる向上のため、エリアに関わる様々な方々の参画を促すとともに、共に取り組む方向を示すものです。

### ■ 8つのテーマ概要



## 4-2. まちづくりのテーマと取り組み

Theme 1  
コミュニティ人と人がつながり、  
暮らしを支え合う

ササハタハツエリアに暮らす人、働く人、学ぶ人、訪れる人など多様な人同士がつながり、まちに愛着を持てる機会づくりを進めます。また、子育て世帯や高齢者世帯に加えてあらゆる人たちの暮らしを支え合う仕組み・場をつくります。

## Theme 1 コミュニティ

## 地域とともに進める取り組み案

- 暮らしの支え合いやまちへの愛着醸成等に関して、人と人がつながるきっかけづくり  
なんでも作れるラボ（3Dプリンターを使ってものづくりができる場）、挨拶・顔見知りほどの緩いつながりづくり、**フードシェアリング\***等の食を通じた交流
- 子育て、高齢者福祉、社会的少数者などを支え合う場や体制の充実  
子育て環境の充実
- 人材の育成や発掘の充実  
地域リーダー育成プロジェクト、SNSグループによる若い人の取り込み
- 誰でも立ち寄れる居心地の良い場、独りにしない居場所などの場や体制の創出  
土日開放自習室、独りにさせない居場所、子どもも高齢者も誰でもいられる場所づくり、中高生が立ち寄りやすい趣味などを行える居場所
- コミュニティ情報の発信や共有  
SNSグループによる情報共有、既存のまちづくりの情報の集約

テーマに該当するササハタハツまちラボ認定・登録プロジェクト\*  
及びまちラボの事業

『インクルーシブ運動場』、『Tea Party』、『まち遺産探検隊』、  
『Mamapura Kids & Baby』、『つながる菜園プロジェクト』、『北浜プロジェクト』、  
『ササハタハツ新聞』、『ササハタハツ花コミュニティ大作戦』、  
『ササハピ★オモシロビトMAP』、『ササハタハツCONNECT』、  
『ササハタハツ「しぶやのなかま Project」』、『388まちの学童』、『地元ジム』、  
『SHHAA』、『388 Farm β』

※フードシェアリング…

食品ロスを削減する取り組みの一つで、無駄になりそうな商品を消費者に上手く届けることで食品ロスの発生を減らす仕組みのこと。

※ササハタハツまちラボ認定・登録プロジェクト（再掲）・・・

p.9 注釈参照

## Theme 2 健康

### 誰もが健康に暮らせるための 場や機会をつくる

誰もが充実した生活スタイルを実現するために日頃から誰もが気軽に参加できる運動の場づくりや、有害なストレスが蔓延しない心と体の健康につながる機会づくりを通して、誰もが充実した生活スタイルを実現できるまちをつくります。

## Theme 2 健康

### 地域とともに進める取り組み案

- 誰でも気軽に参加できる運動の場の充実
- 屋外空間でのスポーツプログラム等の実施子育て環境の充実  
屋外空間でのスポーツやヨガプログラム実施、誰でも立ち寄れる居心地の良い場、独りにしない居場所などの場や体制の創出
- 心と体の健康を支えるコミュニティの構築
- ストレスフリーな場の創出  
土に触れられる（FARM※）、一緒に食べる（FARM）、閉塞感なく居てもいい場所（FARM）

### テーマに該当するササハタハツまちラボ認定・登録プロジェクト 及びまちラボの事業

『インクルーシブ運動場』、『Mamapura Kids & Baby』、『地元ジム』、『388 Farm β』

※玉川上水旧水路緑道再整備コンセプト「FARM」（再掲）・・・

p.13 注釈参照

### Theme 3 パブリックスペース

### 公共空間をまちの居場所として 積極的に使い、育てる

公園や道路空間、公共施設、公開空地などの公共空間は、まちの居場所となる貴重な空間です。さらに、それらに面した建物や看板などもまちの顔の一部であり、まちを印象づけるものとなります。景観や場所のあり方を考え、そこに集う人々の思いや活動を活かして、ひとりひとりの居場所となり愛着の持てる都市空間づくりを推進します。

#### Theme 3 パブリックスペース

#### 地域とともに進める取り組み案

- 玉川上水旧水路緑道の積極的な利用、区民活動との連携
- 公園、広場等パブリックスペースのインクルーシブな利活用促進（ペットの居場所づくり等）
  - 子どもの外遊び場の充実、心と体の健康を支えるコミュニティの構築、**車いす等の移動に制約がある方へのアクセシブルな取り組み**
- 公園や道路空間を利用したイベントの開催
  - みちあそびプロジェクト（限定芝生広場）**
- 地域住民や地域に関わる人々の共創による維持管理・環境美化の仕組みの構築
  - 景観の向上（統一感、環境美化）
- 民有地や企業連携によるスポットスペースづくりの促進
  - ベンチプロジェクト
- 安全で便利に移動できるまちの創出（自転車誘導、移動支援モビリティレンタル等）

#### テーマに該当するササハタハツまちラボ認定・登録プロジェクト 及びまちラボの事業

『インクルーシブ運動場』、『Tea Party』、『Mamapura Kids & Baby』、  
『つながる菜園プロジェクト』、『北渋プロジェクト』、  
『ササハタハツ花コミュニティ大作戦』、『地元ジム』、『388 Farm β』



**Theme 4  
賑わい**
**商店街や個性ある店舗の集積を活かし、  
まちの賑わいをつくる**

昔ながらの商店街や魅力的な新しい個店の集積は、ササハタハツエリアならではの個性です。イベントや起業誘致、空き店舗・古いビルの利用促進、個店間の更なる連携など、エリアの個性を活かしたまちづくりに取り組むことで、エリアの賑わいをつくり、まちの機能・サービスの充実を図ります。

**Theme 4 賑わい**
**地域とともに進める取り組み案**

- エリア内店舗の応援・活用促進  
    飲食店の応援
- 店舗から外へのにじみだしの促進（イベントでの出店、マルシェ、飲食店や販売の屋外スペース利用等）  
    収穫祭（FARM※）、ミチ活用プロジェクト（外の賑わい）
- 空き家・空き店舗の利用促進・起業支援  
    空き家・空き店舗の暫定利用、チャレンジショップを立ち上げやすい商店街
- 個店や商店街などエリア連携機会の創出  
    学生や若いアーティストの展示や発表の機会・場所

**テーマに該当するササハタハツまちラボ認定・登録プロジェクト  
及びまちラボの事業**

『Tea Party』、『388 Farm β』

※玉川上水旧水路緑道再整備コンセプト「FARM」（再掲）・・・

p.13 注釈参照

**Theme 5  
自然環境**
**自然と共生し、  
持続可能なまちづくりに貢献する**

ササハタハツエリアには、玉川上水旧水路緑道をはじめ、身近に自然を感じられる場所が数多くあります。今よりさらに、緑地や水辺の創出と保全を、公園、道路、公開空地、屋上等で進め、ヒートアイランド現象の緩和やCO2削減など気候変動対策にも寄与し、自然と共生した都市環境をつくります。

**Theme 5 自然環境**
**地域とともに進める取り組み案**

- 玉川上水旧水路緑道等を利用したファームの構築・ファームを軸としたまちづくりの展開  
     オープンスペース＝ファームを軸とした居場所・場づくり
- 循環型の緑地・ガーデンの整備・運営  
     生きることを子どもたちに教えられる＝SDGsなガーデンづくり
- 自然と共生した街並み・環境整備（民有地への緑化、屋上緑化、雨水浸透型緑地等）  
     生きることを子どもたちに教えられる＝SDGsなガーデンづくり
- まちの緑に気候変動対策の価値の付与、効果の見える化  
     オープンスペース＝ファームを軸とした居場所・場づくり、生きることを子どもたちに教えられる＝SDGsなガーデンづくり、サステナブルエネルギーの利用

**テーマに該当するササハタハツまちラボ認定・登録プロジェクト  
及びまちラボの事業**

『つながる菜園プロジェクト』、『ササハタハツ花コミュニティ大作戦』、『渋谷肥料』、『388 Farm β』

## Theme 6 文化・芸術・歴史

### エリアの個性を活かし、 新たな文化・芸術の創造を支える

芸術の存在は、まちに感性や知性、活気を与えるものであり、また地域の文化や歴史はまちのアイデンティティの核となるものです。市民の体験・学習・発表の機会の創出やクリエイターの活躍を支える場づくりを行い、東京オペラシティが立地するエリアの個性ある環境も活かしながら、日常的にアートや文化に触れることができるまちをつくります。

## Theme 6 文化・芸術・歴史

### 地域とともに進める取り組み案

- **日常的に音楽やアートに触れたり、創作することのできる場所・機会の創出**  
エリア内回遊型音楽（&アート）イベント、多世代アートな雰囲気を作る（フェスタ・WS）、今昔地図、地域のかきた制作、発表・展示会、**まちの図書室**
- **歴史や文化の魅力を伝え、次世代に継承する活動の展開**  
ササハタハツ歴史と自然探訪ツアー、歴史や文化などの魅力を伝える公開セミナー
- **クリエイターの活躍を支える場づくり**  
アーティストインレジデンス
- **文化芸術、音楽、商店街など、ササハタハツエリアの多様な魅力の情報発信**  
既存のまちづくりの情報の集約

### テーマに該当するササハタハツまちラボ認定・登録プロジェクト 及びまちラボの事業

『Tea Party』、『まち遺産探検隊』、『北浜プロジェクト』、『ササハタハツ新聞』、  
『ササハピ★オモシロビトMAP』、『ササハタハツCONNECT』、  
『ササハタハツ「しぶやのなかま Project」』、『SHHAA』、『388 Farm β』

## Theme 7 仕事

### 起業や多様な仕事の機会創出を支える

スタートアップ企業や個人事業主、ソーシャルアントレプレナー（社会起業家）※等が取り組む新たなチャレンジを支える仕組みをつくりまします。企業との協業、地域側との連携支援により、最先端の技術・サービスを活用したまちの課題解決や魅力向上に取り組まします。また、趣味や特技を活かしたい人や働きづらさを抱えた人などへの多様な仕事や活躍の機会を創出し、誰もが機会をもてるまちを目指まします。

## Theme 7 仕事

### 地域とともに進める取り組み案

- **多様な仕事の機会創出**  
地域お手伝い、地域ポイントで機会やチャンスを得る
- **スタートアップや起業家の活動拠点の創出、支援（空き家や都営住宅の活用、ユニットハウスなど）**  
ソーシャルアントレプレナー（社会起業家）の育成、空き店舗を使った起業・スタートアップ向けコミュニティ、ユニットハウス設置・貸出によるチャレンジ・トライアルの場づくり
- **障害者通所施設、企業、既存の就労支援施設（シルバー人材センター等）との連携促進、ソーシャルファーム支援※**
- **趣味や特技を活かした場・つながりの確保**  
空き店舗でアクティビティやWS、習い事・お菓子販売などで居場所・つながりづくり
- **リモートワーク環境・コワーキングスペースの充実**

### テーマに該当するササハタハツまちラボ認定・登録プロジェクト 及びまちラボの事業

『Tea Party』、『渋谷肥料』

※「ソーシャルアントレプレナー」・・・

深刻かつ差し迫った社会的な課題に対してビジネスやマネジメントのスキルを応用し、問題の解決とともに収益の確保にも取り組む企業家。社会企業家や社会起業家ともよばれ、社会企業そのものをさすこともある。

出典：小学館日本大百科全書(ニッポニカ)

※「ソーシャルファーム」・・・

自律的な経済活動を行いながら、就労に困難を抱える方が、必要なサポートを受け、他の従業員と共に働いている社会的企業のこと。

出典：東京都「都民の就労の支援に係る施策の推進とソーシャルファームの創設の促進に関する条例」

**Theme 8**  
**治安・防災****日々の暮らしの安全を確保し、  
非日常時にも支え合えるまちをつくる**

日々を安全に暮らすためには、交通事故や犯罪などリスクの高い場所の改善のほか、一人一人のマナー意識の向上も必要です。また、災害時や感染症流行時にも弱者を見捨てず、生活の安全を保てるよう、備えやコミュニティのつながりを持っていることが大切です。地域団体や、企業、行政機関が連携して、備えを充実させ、安全を確保できる環境づくりを進めます。

**Theme 8 治安・防災****地域とともに進める取り組み案**

- まちの点検と改善、情報の共有（危険マップ、オープンスペース・避難所確認など）  
防災情報の共有
- 自転車や喫煙等のマナー対策  
治安の向上（タバコマナー等）
- 防犯などまちの安全を支え、人と人がつながる活動サポート（夜回りランニング、挨拶など）  
治安の向上（夜の暗さ等）
- いざという時に対応し、支え合えるコミュニティの構築・参加支援（防災組織、防災訓練、コロナ禍における外出自粛者への買い物ボランティアなど）  
防災コミュニティへの参加のしやすさ

## コラム

## ササハタハツまちラボ認定プロジェクト/実施事業

## ➤ インクルーシブ運動場

紹介文が入ります。※フェイスブックページ参照

関連テーマ： テーマ1  
コミュニティ テーマ2 健康 テーマ3 パブ  
リックスペース

## ➤ Tea Party (ティーパーティ)

紹介文が入ります。※Instagramページなど参照

関連テーマ： テーマ1  
コミュニティ テーマ3 パブ  
リックスペース テーマ4  
賑わい  
テーマ6 文化・  
芸術・歴史 テーマ7  
仕事

## ➤ まち遺産探検隊

紹介文が入ります。※フェイスブックページなど参照

関連テーマ： テーマ1  
コミュニティ テーマ3 パブ  
リックスペース

## ➤ Mamapura Kids &amp; Baby (ママぷら)

紹介文が入ります。※Instagramページ参照

関連テーマ： テーマ1  
コミュニティ テーマ2 健康 テーマ3 パブ  
リックスペース

## ➤ つながる菜園プロジェクト

紹介文が入ります。※HPなど参照

関連テーマ： テーマ1  
コミュニティ テーマ3 パブ  
リックスペース テーマ5  
自然環境

## ➤ 北浜プロジェクト

紹介文が入ります。※HPなど参照

関連テーマ： テーマ1  
コミュニティ テーマ3 パブ  
リックスペース テーマ6 文化・  
芸術・歴史

## ➤ ササハタハツ新聞

紹介文が入ります。※HPなど参照

関連テーマ： テーマ1  
コミュニティ テーマ6 文化・  
芸術・歴史

## ➤ 388ファームβ (ササハタハツファームベータ)

紹介文が入ります。※Web記事など参照

関連テーマ： テーマ1  
コミュニティ テーマ2 健康 テーマ3 パブ  
リックスペース  
テーマ4  
賑わい テーマ5  
自然環境 テーマ6 文化・  
芸術・歴史

## 5章. ササハタハツエリアビジョンの実現に向けて

////////////////////////////////////

# 5 ササハタハツエリアビジョンの実現に向けて

## 5-1. ビジョンの実現に向けた3つの柱

### 「活動の場」と「つながり」の創出と、「活動のサポート」が必要

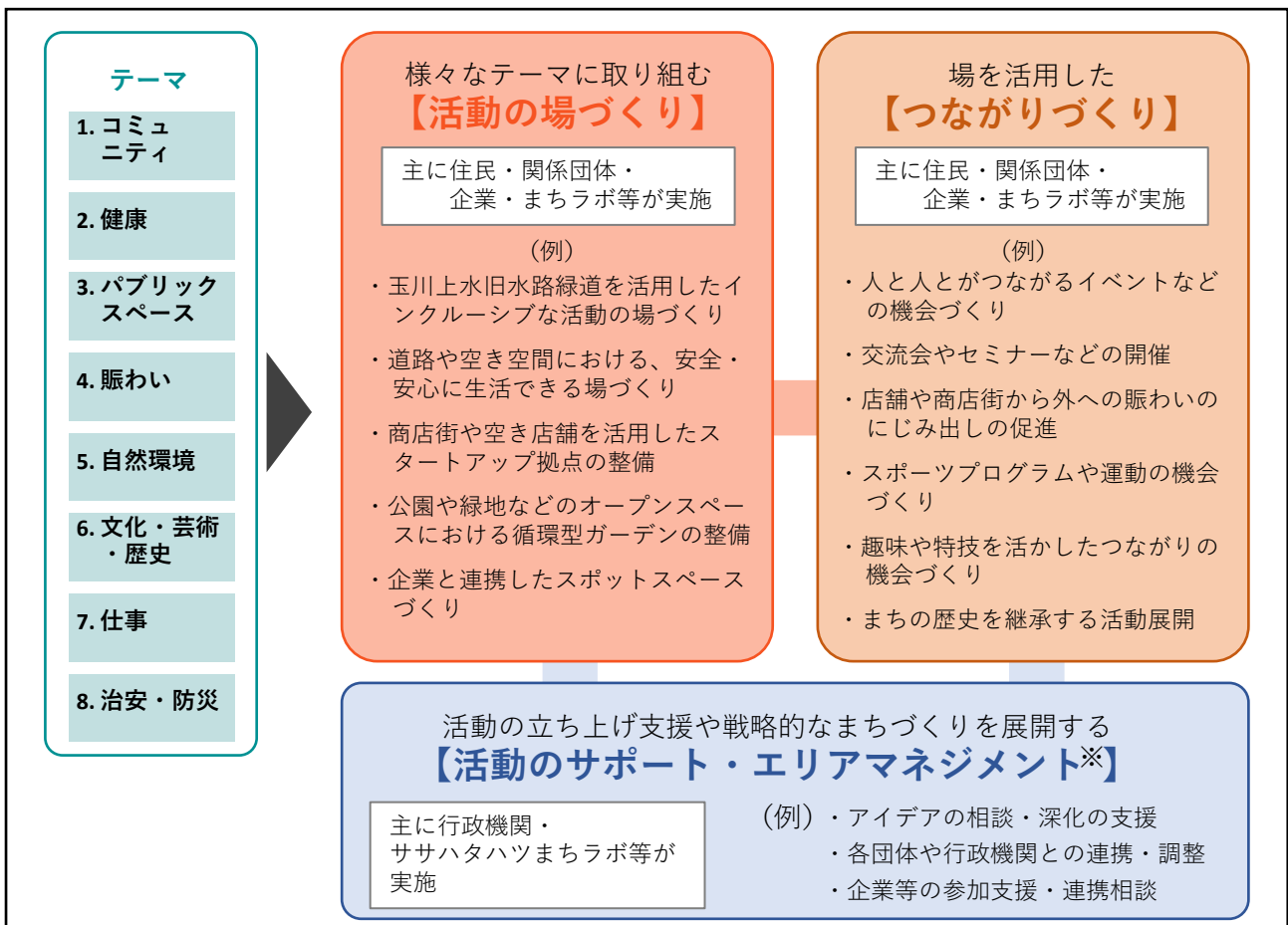
前章の8つのテーマにもとづき、テーマを横断して展開されるものもあれば、単独で取り組まれるものもあります。いずれの場合でも、住民をはじめ様々な方が活動する「場」をつくることと、それらの活動に出会い新たな展開が生まれる「つながり」をつくることが重要です。

「活動の場づくり」は、玉川上水旧水路緑道や道路・空き空間などのパブリックスペースのほか、商店街や公営住宅などの活用を通して各テーマの取り組みが行われる「場」を作ります。

「つながりづくり」は、活動の場と連携して、つながりの機会づくりを展開していきます。

「活動のサポート・エリアマネジメント※」は、まちラボをはじめ行政機関など関係機関が、それぞれの活動を推進するためのアイデア相談や体制構築についてサポートし、エリア全体での活動の充実を図ります。

#### ■ビジョンの実現に向けた3つの柱



※「エリアマネジメント」・・・

本ビジョンでのエリアマネジメントは、活動（プロジェクト）立ち上げ支援、各活動の担い手間や行政機関との連携調整、企業等の連携相談などによってエリア全体で戦略的なまちづくりの展開を図ることを指します。



## 5-2. ビジョンを実施する推進体制

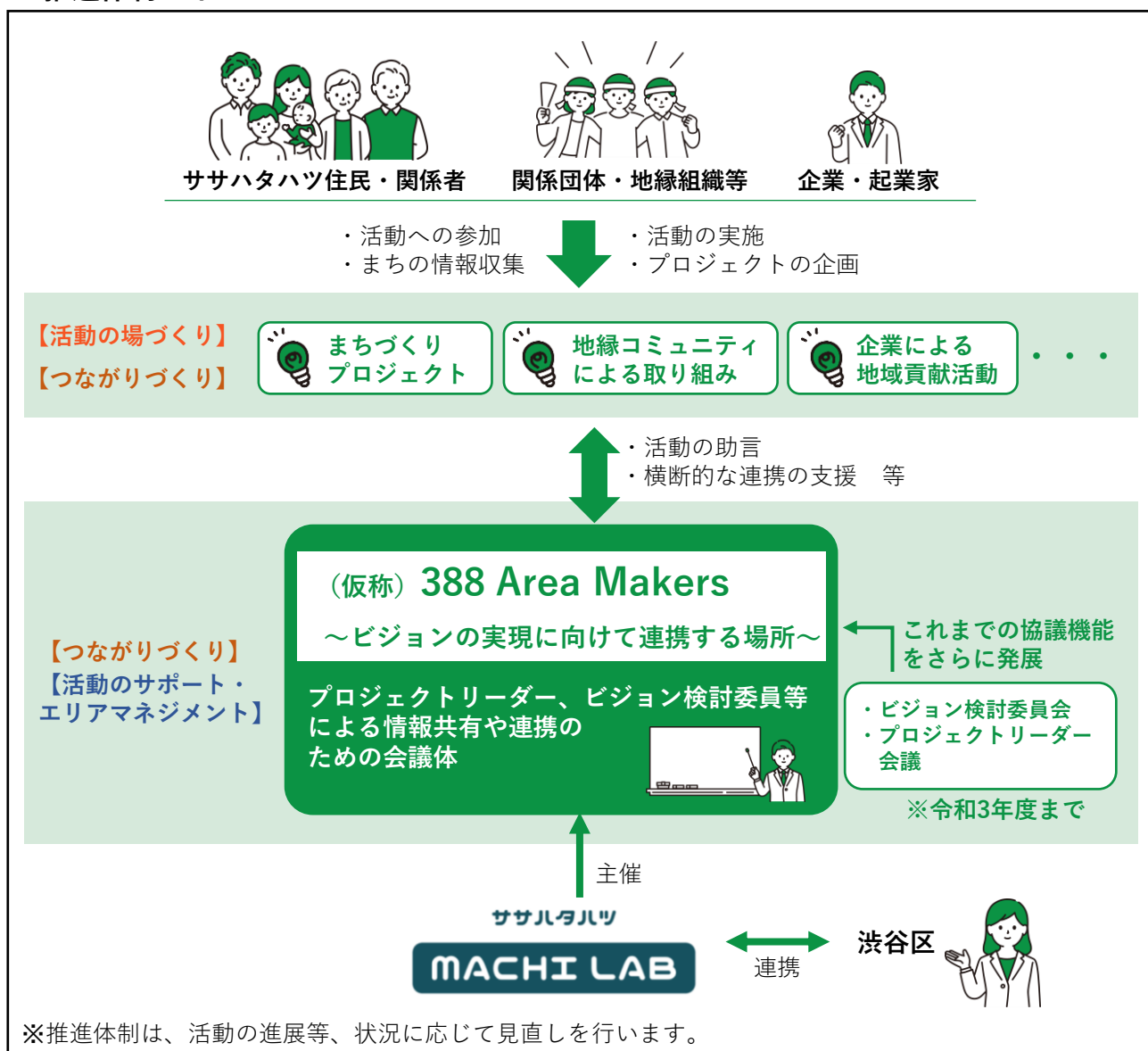
### 様々な活動の連携体「(仮称) 388 Area Makers」を設置します

本ビジョンの実現には、ササハタハツエリアの住人、エリアが好きなファン、地域を支える地縁組織や関係団体、エリアで事業を実施する企業等、様々な人の関わりが欠かせません。また、展開される様々な活動・取り組み同士、課題を共有し、横断的に連携することが重要です。

そのため、本ビジョンの実現に向けて、まちづくりのプロジェクトのリーダーや本ビジョンの検討委員等による連携体「(仮称) 388 Area Makers (ササハタハツ・エリアメーカーズ)」を設置します。「(仮称) 388 Area Makers」では、今後も継続的にまちの将来像の実現に向けて情報共有や連携を図る場所として、まちラボを中心に渋谷区とも連携して実施していきます。

また、本ビジョンを定期的に見直し、必要なプロジェクトの立ち上げや、ビジョン自体の検証を継続的に実施する場も設けます。

#### ■推進体制のイメージ



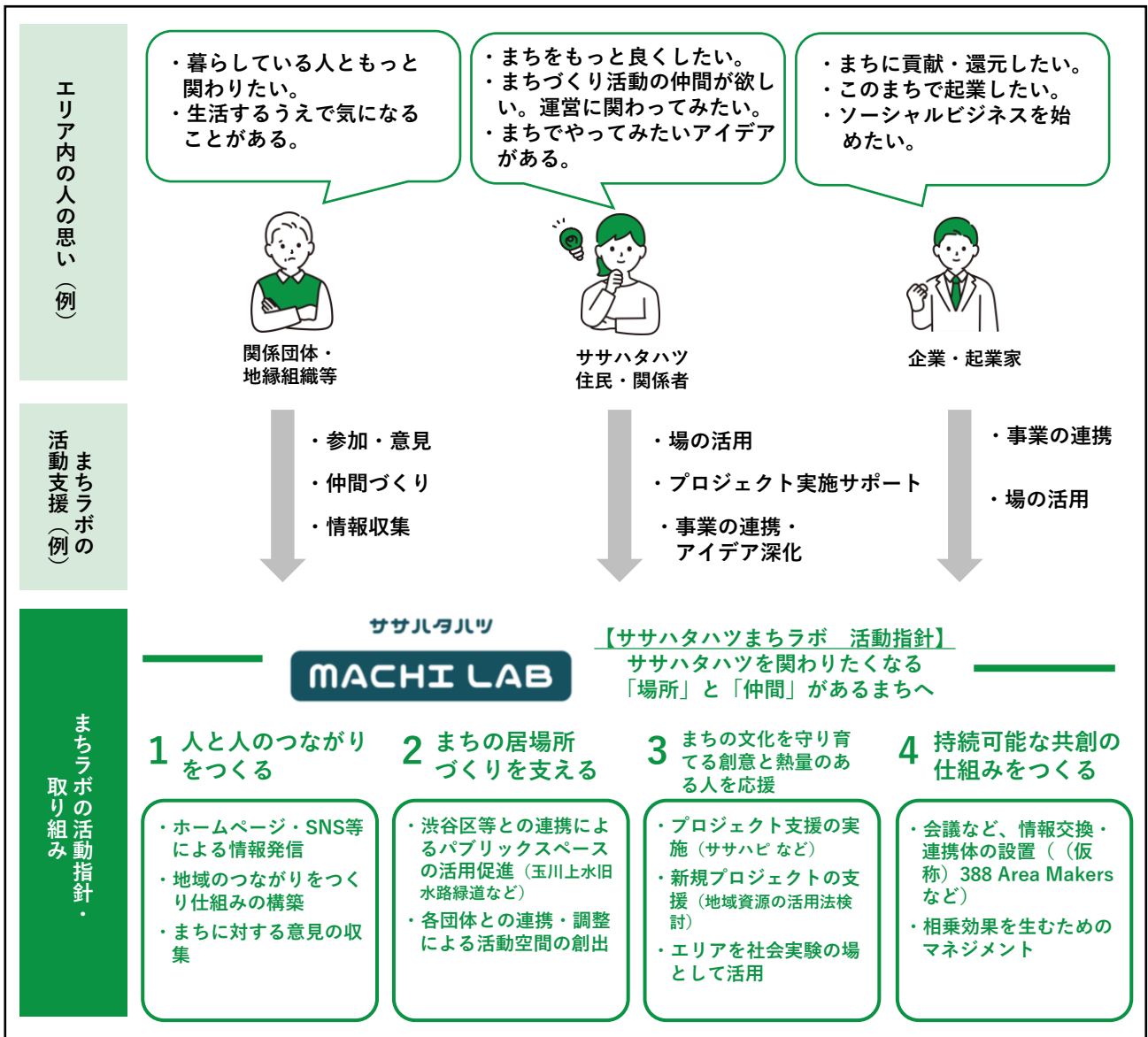
## ササハタハツまちラボが、エリアへの関わりを生み出します

まちラボは、下記に示す4つの活動指針を掲げて活動しており、まちづくりのひとつのハブとなり、エリア内の住民や様々な団体・企業をつなぐ役割を担います。

また、本ビジョンに基づき、エリアマネジメント（プロジェクト立ち上げ支援、各プロジェクトの担い手間や行政機関との連携調整、企業等の連携相談など）によってエリア全体で戦略的なまちづくりの展開を目指します。

特に、「活動の場づくり」「つながりづくり」においては、まちづくりに関する情報発信・意見収集や社会実験の実施、活動のサポートなどの支援を行います。

### ■ササハタハツまちラボの役割と「活動の場づくり」、「つながりづくり」の支援例



### 5-3. ビジョン実現までのロードマップ（行程表）

#### パブリックスペースの活用を起点に、活動を展開します

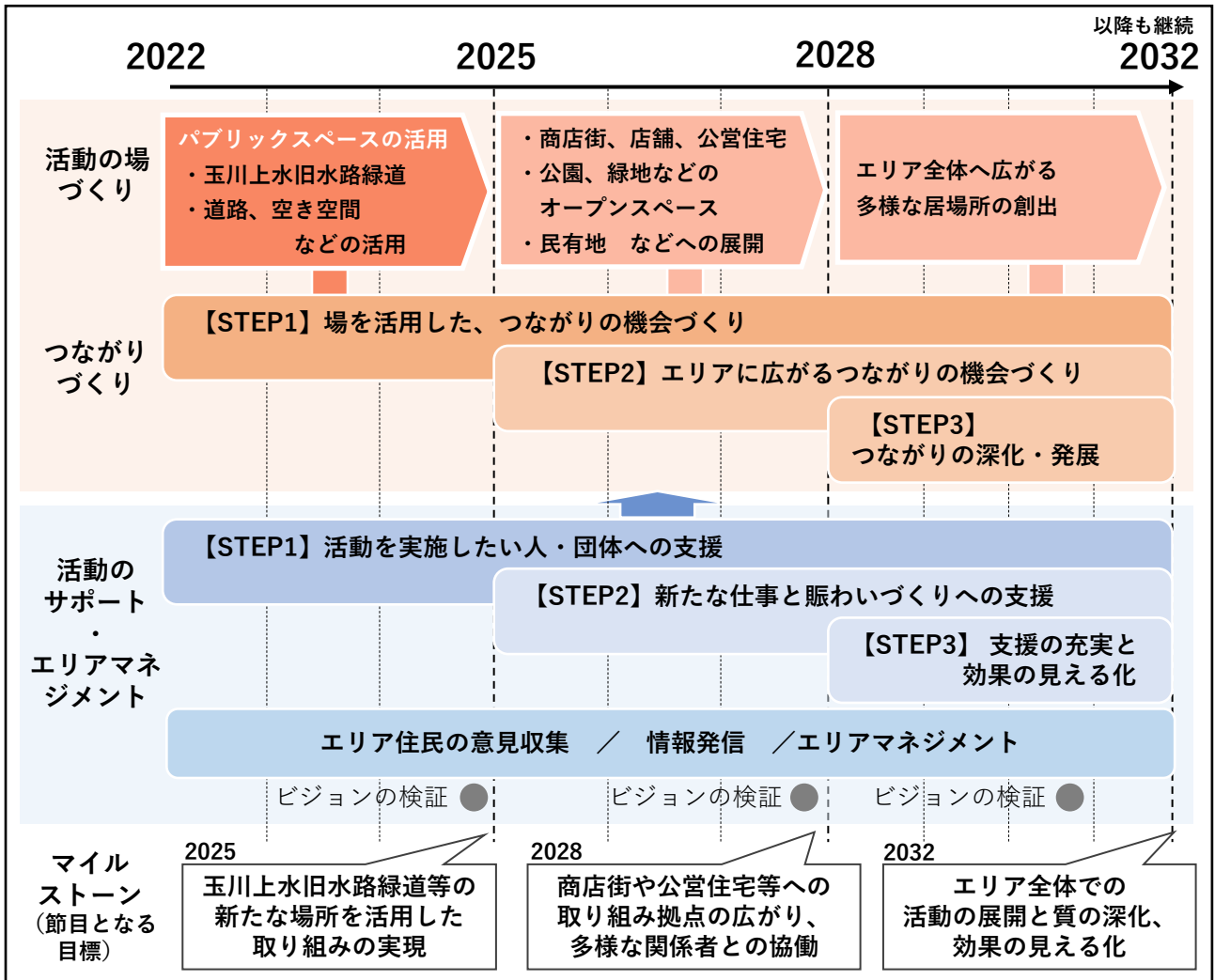
ビジョンの実現に向けたロードマップは、「活動の場づくり」と、その場を活用した「つながりづくり」を横軸として、8つのテーマを横断した形で活動を展開します。それぞれの横軸は、3年ごとを目安にマイルストーン(節目となる目標)を置き、実現を図ります。

第1段階（2022～2024）では、緑道や道路・空き空間などの“パブリックスペースの活用”を起点として、場づくり、その場を活用したつながりの機会づくりを行います。また、個々の活動を実施したい人や団体の支援を行います。

第2段階（2025～2027）では、第1段階で創られた活動の場をさらに商店街や公営住宅、公園・緑地、民有地に広げ、エリアに広がるつながりの機会づくりを行なっていきます。また、活動のサポートとして新たな仕事や賑わいづくりへの支援を加えます。

第3段階（2028～2031）では、活動の場がエリアのどこでも起こりうる状態に発展させ、またつながりづくりと活動のサポート・エリアマネジメントにおいては、質の深化や充実、効果の見える化を目指します。

#### ■ビジョン実現までのロードマップ（行程表）



## 卷末資料



## ササハタハツエリアビジョンの作成プロセス

## 「ササハタハツまちラボ」の概要

「ササハタハツまちラボ」は、2020年に官民連携により共同で設立。京王線笹塚駅・幡ヶ谷駅・初台駅のそれぞれ頭文字を採り、「ササハタハツ」と称している当エリアを、地域住民をはじめ、エリアに関わるあらゆる人々にとって魅力的なまちにしていくための活動を行う組織であり、ビジョン策定・運用の事務局を担っています。

## 目的

ササハタハツエリアでの暮らしの質の向上

## 実施事業（2022年3月現在）

1. コミュニティ活動支援・運営事業
2. 官民連携事業
3. ビジョン策定事業
4. 情報発信事業

## 会員（2022年3月現在）

- ・渋谷区
- ・京王電鉄株式会社
- ・一般社団法人  
渋谷未来デザイン

## 「ササハタハツエリアビジョン」策定経緯の概要

ササハタハツエリアビジョンの検討は2020年度に開始し、この年度はこれまでのエリアの既往計画の整理や、統計資料や現地調査によるまちの分析を行いました。またササハタハツエリアに居住および関わりのある方が持つ街のイメージや取り組まれてほしいことについて、アンケート調査を実施しました。2021年度は、「ササハタハツエリアビジョン検討委員会」を、エリア内の様々なまちづくりの動きを糾合し、まちの中で目指すべき将来像を共有するためのエリアビジョンの検討を行う目的で設立し、公募で選ばれた9名の委員と学識経験者の委員1名、まちラボメンバーで、半年にわたり活発な議論を行いました。委員の方が自発的に運営した3つの分科会でも議論を深めていきました。また、第2回アンケート、第3回アンケートを実施し、ビジョンづくりへの参加や反映のための意見収集を行いました。

## ■ 策定経緯

第1回 アンケート	2021年 1月～2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年後になってほしい街のイメージ、取り組み</li> <li>・回答数958件</li> </ul>
第1回 検討委員会	2021年 7月9日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度検討における「まちの特徴と課題」の共有</li> <li>・「テーマ」の作成</li> </ul>
第2回 検討委員会	2021年 9月1日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「共通原則」の設定、「テーマ」の見直し</li> <li>・テーマに基づいた「取り組み」の作成</li> </ul>
第2回 アンケート	2021年 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「テーマ」、「取り組み」について</li> <li>・回答数 個人向け：498件 企業向け：19件</li> </ul>
検討委員会 分科会の開 催（1回 目）	2021年10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通原則「インクルーシブ」分科会</li> <li>・テーマ「パブリックスペース」分科会</li> <li>・テーマ「文化・芸術・歴史」分科会</li> </ul>
第3回 検討委員会	2021年 11月4日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「共通原則」、「テーマ」、「取り組み」の見直し</li> <li>・「ロードマップ」の作成</li> </ul>
検討委員会 分科会の開 催（2回 目）	2021年11月～12 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通原則「インクルーシブ」分科会</li> <li>・テーマ「パブリックスペース」分科会 ※街歩きを行い、有効活用できそうな公共空間、民有地の探索</li> <li>・テーマ「文化・芸術・歴史」分科会</li> </ul>
第4回 検討委員会	2021年 12月23日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「将来像」「推進体制」の作成、「ロードマップ」「ビジョン（案）全体」の確認</li> <li>・ビジョン策定後の動き方</li> </ul>
第3回 アンケート	2022年 1月～2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ビジョン（案）全体」について</li> </ul>

## 「ササハタハツエリアビジョン」ウェブサイト

（URLやウェブサイトのビジュアル素材の一部などを掲載）